２０２２年（令和４年）１１月２０日発行
第４４１号
発行責任者　いこいの村聴覚言語障害センター
所長　岩本　幸子
編集　いこいの村編集委員会
〒６２９－１２４２
綾部市十倉名畑町久瀬谷２番地
電話　（０７７３）４６－０１０１
ファクス（０７７３）４６－０６１０
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi

皆さまと共に迎えた40周年

京都府中丹文化会館に約300人が集いました

10月16日（日）

京都府中丹文化会館でいこいの村聴覚言語障害センターの40周年記念祭を開催しました。

京都府、綾部市など関係行政の皆さま、口上林地域をはじめとする長年いこいの村を支えて下さっている方など、多くの皆さまと共にこの日を迎えられたこと、心より感謝申し上げます。

当日は式典に引き続き記念講演、栗の木寮・梅の木寮による平和アピールが行われました。

昭和57年栗の木寮開所式での初代所長の「施設づくりは単なる箱物づくりではない。地域から人が通い、地域の課題を一緒に考えながら、人にやさしい地域（村）づくりをすることである」この言葉を胸に刻み、幅広い視野と想像力を持ち、皆さまと共にいこいの村を更に大きく発展させていきたいと思います。

栗の木寮で制作した記念品をご来場いただいた皆さまにお渡ししました。

記念講演

「障害のある人の現在、過去、未来
～平和と人権の尊さを考える私たち一人ひとりにできること～」

講師　藤井克徳氏
（NPO法人日本障害者協議会代表）

「世界の障害者の暮らしの今」

日本障害者協会の藤井克徳代表をお迎えし、講演いただきました。

優生保護法は、日本では26年前に終わっているが、今も解決されていない、大きな課題です。優生保護法によって根付いてきた優生思想は今なお、障害者の暮らしに大きな壁となり、人権侵害に繋がる大きな要因になっています。そして、今も未決着となっているこの問題を解決しなければ、障害者にとっての明るい未来を切り拓くことができないということを、歴史を紐解く中で強く訴えられました。

また、世界に目を向けるとウクライナとロシアでは、戦争により多くの犠牲者が出ています。現地の障害者、子どもや高齢者などの悲惨な状況を知った藤井代表は心を痛め、すぐに自分自身の思いを伝えたいと詩に思いをしたためられました。

障害のある人の今、過去と話を進め、最後には未来への思いを話され、私たちいこいの村職員へのメッセージも伝えて下さいました。

「私たち抜きに私たちのことを決めないで」

この言葉を耳にされたことはありますか。障害者権利条約を策定する議論の過程で繰り返し使われたスローガンです。

この言葉がしっかりと根をおろしていけるかどうか、それを仕組みにしていくことが大切であると話されました。

いこいの村の職員が主体力を高めていき、その思いや行動に共感し、繋がっていける地域を作ることが私たち職員の役割であると伝えて下さいました。

会場にお越しいただいた皆さまと40年を振り返り、感謝の気持ちをお伝えすると共に、いこいの村、また一人ひとりが原点に立ち戻り、初心を振り返るきっかけとなる講演でした。

「仲間によるアピール」

講演の後には、いこいの村栗の木寮・梅の木寮の代表が平和アピールを行いました。

戦禍に苦しむ障害者の支援に心を寄せて、会場の皆さまに募金のお願いをしました。

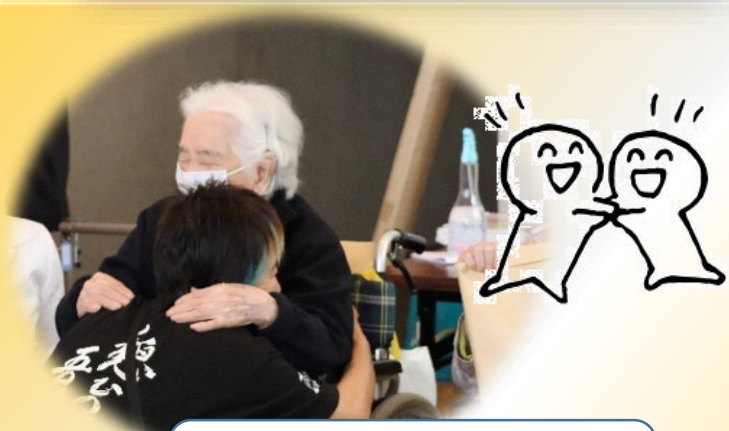
戦争のない平和な社会でこそ人権は守られます

ご来場の皆さまに「人として5」の入った封筒をお渡ししました。

入り口で
「村べえ」がお出迎え

舞台発表がんばるぞー

検温・手指消毒
の徹底にご協力
いただきました。



コロナ禍で会えなかった方々とも
再会できました。笑顔が溢れます。

「この商品は～」「久しぶりね」
会話を楽しみながらのお買い物。
ワイワイ賑やかなバザー会場でした。

敬老祝賀会・とくらの家

先日、とくらの家で敬老祝賀会を開催しました。全員で9名のグループホームなので、こじんまりとした家庭的な祝賀会になりました。

手作りの看板です

準備もみなさんでしています

「もう、そんな歳か？」平均年齢90歳のみなさんに、お歳を伝えると驚かれます。

「また来年もしよか」元気いっぱいに言われていました。来年もしましょうね。私たちの方が元気を頂いています。

（とくらの家　白子　操）

みなさんの笑顔が大好きです

いこいの村聴覚言語障害センター40周年記念連動企画

「星に語りて～Starry Sky～」綾部上映会を開催
“共に安心して暮らせる街づくりを！”

「災害や戦争で障害者が置き去りにされることを初めて知った」「支援者の頑張りに感動した！」など感想が寄せられました

あやべネットワーク（綾部市聴覚障害関係４団体）といこいの村聴覚言語障害センターとの実行委員会の主催による上映会を、10月23日（日）綾部市I・Tビルで開催し、多くの来場者が感動を共にしました。

実行委員長の野田和博さんは「共に仲間の輪を広げていこう」と挨拶されました。

戦争はダメ！

10月16日に行われた40周年記念式典にて、栗の木寮の仲間と梅の木寮生活者の皆さんからウクライナ募金活動の呼びかけをしました。
　栗の木寮ではこの大切な活動を仲間が自分のことばで出来るように、10月5日に当日の登壇者が集まり、平和学習を実施しました。

戦争が自分たちの生活にどう影響を及ぼすか学習します

40周年記念祭平和アピールへ向けて

学習冒頭から仲間より「戦争はダメ！」と意見が出ました。
「たくさん人が亡くなる」「困る」「怖い」「悲しい」と、当然ながら戦争に対して賛成の声はありません。実体験は無くとも想像を膨らませて、更に学習を進めました。
　緊急時「今何が起こっているか」「何処へどう避難をするか」施設の中にいれば、フラッシュランプや掲示板など情報を得ることが出来ますが、すべての場所で条件が整っているわけではありません。聞こえない人にとって情報の遅れが命の危機を引き起こすこともあります。
　仲間達が日々栗の木寮で過ごす中で、改めて「平和」を実感する場面はほとんどないと思います。しかし作業も自治活動も、あらゆる日常生活は根底に「平和」があるからこそ成立します。
　戦争の悲惨さと平和の大切さを学び、そして募金の呼びかけはその平和を守ることに繋がっていく大切な活動であり、「募金 沢山集めて ウクライナ 届ける 喜ぶ！」と学習の最後は仲間からの言葉で締めくくることが出来た学習となりました。

（栗の木寮　渡邉幸之助）

「聴こえない人は戦争でも情報が分からないから困る」

真剣に現在の戦禍を見つめておられます

たからの里からのお知らせ

たからの里は２０１２年に設立され、今年で10年目になります。障害のある方の働きたいという想いを大切にパン作りをしてきました。
　この度、新しい電気オーブンを設置することになり、仲間のみなさんがパン焼きやお菓子作りに関わることができます。「楽しく一緒に働きたい」と通所をご希望の方はお気軽にご相談ください。
　今後も仲間が作る美味しいパンを皆さまにお届けしていきます。是非お買い求めください。
（栗の木寮　山内　壮）

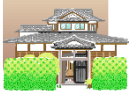
仲良しご夫婦の暮らしに寄り添って

いこいの村創立40周年を迎えた今年、9月17日に梅の木寮花の家で生活しておられた藤田茂さんが103歳でご逝去されました。
茂さんには長年連れ添ってこられた奥様のみち枝さんがおられます。

ご夫婦二人で仲良く

茂さんは口上林で生まれ、青年の時に出兵で激戦区に行かれ、生死の境をさまようような大けがをされ帰ってこられたそうです。その後、同郷のみち枝さんと結婚、農業一筋で夫婦で頑張ってこられました。いつもお二人で散歩に行かれる姿は近所でも「仲良し夫婦」と評判になりました。
いこいの村が建って間もないころ、近くの畑で農作業をしていた栗の木寮の仲間に、みち枝さんが身振り手振りを交えながら話をしていたこともあったそうです。

しんどい時も「一緒にいたい」



平成22年、みち枝さんに物忘れが見られるようになり、心配した茂さんがいこいの村に相談したことから、みち枝さんの綾部東部デイサービスの利用が始まりました。
みち枝さんの認知症は年々進行し、茂さんや交替でサポートされていた遠方の娘さん方の介護負担は大きくなっていきました。時には、みち枝さんが茂さんに対し、感情を抑えられず、きつい言葉をかけられることもありましたが、茂さんは「おばあが泣いたりせず、笑っていられるように声をかけてやりたい」と寄り添っておられました。
平成27年からみち枝さんは梅の木寮ショートステイ利用を開始。
茂さんも年を重ねられ、みち枝さんの介護を続けていく事は並大抵のことではなかっただろうと思います。娘さん方も茂さんの「一緒に居たい」という思いを汲みつつ、ご夫婦そろっての在宅生活に限界を感じ、平成29年、みち枝さんは梅の木寮に長期入所されました。

またご夫婦一緒に

98歳の茂さんは同じ建物内のショートステイを利用し、みち枝さんに会いに足しげく通われました。毎回食べやすいおやつを持参され「わかっとるんか判らんけど、おいしそうに食べとったわ」と笑っておられた姿が印象に残っています。
令和4年、「ゆくゆくは、みち枝と一緒に過ごしたい」というかねてからの希望もあり梅の木寮へ長期入所されました。
「お世話になれてよかった。これで安心や」と入所の日に話してくださいました。梅の木寮で再度ご夫婦で一緒に過ごす生活が始まりました。

平成28年短期入所棟空の家の中庭にて。
いつも茂さんがみち枝さんに寄り添い、
みち枝さんは笑顔で応えておられました。

今も見守られながら

茂さんは6月に入り、持病による体力低下が見られ、昼夜ともに不安で職員を頻繁に呼ばれる日が続きました。みち枝さんと同室で過ごすことで元気を取り戻せないかと準備しました。その後「わしの言うことでなんや笑とるなあ」と、みち枝さんが居ることで安心されるご様子がありました。
持病が悪化して入院され、敬老会の前日に退院し、出席が叶った敬老会では、いこいの村最高齢の103歳を超えた記念に、娘さんが選んだ花水木を植樹しお祝いすることができました。

敬老会の1週間後、みち枝さんと一緒に過ごした後、娘さん方の到着時刻を見計らったかのように旅立たれました。
みち枝さんは今も怒ったり、笑ったりしながら梅の木寮で生活しておられます。地元、口上林でずっと仲睦まじく過ごしてこられたご夫妻を、いこいの村が力になれ喜んでいただけたのであれば嬉しく思います。

（梅の木寮　川﨑史生）

103歳の記念植樹

♦ご寄付　ありがとうございました♦

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

7月1日～9月30日受付分（順不同）

温井 正実	様	綾部市睦合町	50,000円
福井 豊	様	綾部市睦合町	
匿名	様	神奈川県	100,000円
何北ﾌﾞﾛｯｸ民児協	様	綾部市向田町	玉ねぎ、ｺｰﾋｰなど
㈱柴橋商会 京都支店	様	京都市	お菓子詰合せ
福岡建設㈱	様	綾部市睦合町	ﾌﾙｰﾂｾﾞﾘｰ詰合せ
たかお商店	様	綾部市十倉名畑町	ｺｰﾋｰ詰合せ
小山㈱	様	滋賀県大津市	ﾀｵﾙ
ｲﾜﾀﾆ近畿㈱ ｶｰﾊｳｽ ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ	様	福知山市	ｺｰﾋｰ詰合せ
土田大介	様	綾部市淵垣町	ｺｰﾋｰ詰合せ
北原建設㈱	様	綾部市味方町	ﾋﾞｰﾙ

♦後援会　ご入会･ご継続　ありがとうございました♦

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

7月1日～9月30日受付分（順不同）

村上 龍男・チエ	様	綾部市老富町	継続
佐堀 つぎ枝	様	綾部市睦寄町	継続
大友 たけ子	様	綾部市故屋岡町	継続
阪田 ヒサ子	様	綾部市五泉町	継続
福井石油㈱	様	綾部市睦合町	継続

みんなの手話

『40周年』

【左手は年を表す】

①左手のグーをタテにする。（樹木の年輪をあらわす）

【右手は40を表す】

②右手親指は曲げる。他の4本の指は軽く曲げる。

③②を左の上で回す。

（絵）給食課 臼井 愛

職員募集!　一緒に仕事しませんか？

※職種

生活支援員(障害者支援施設)、介護職員(特養)、調理員、ケアマネジャー、訪問介護員、看護職員

☆勤務時間相談に応じます

☆慣れていただくまで丁寧に指導します
お気軽に見学に来てくださいね♪

＜お問い合わせ窓口＞
いこいの村聴覚言語障害センター
電話（0773）46-0101
ﾌｧｸｽ（0773）46-0610（担当：今西 和弘）

詳しくは、
社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会HP
もご覧ください

いこいの村の「知りたい」が見つかる!?
＜ホームページ＞
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi/

いこいの村聴覚言語障害センター　検索

CLICK!!

または
QRコード
で検索してみてくださいね♪

～認知症安心サポート窓口～

- **12月21日(水)**
- **1月18日(水)**
- **2月15日(水)**

午後から

〈お問合せ先〉いこいの村・とくらの家
電話・ファクス：0773-46-0771

２０２２年（令和４年）11月２０日発行

いこいの村

第４４１号

高齢者の方にも おすすめ やさしい献立 Vol.22

旬のキノコを使った 特製なめたけうどん

材料　1～2人分

- うどん　100ｇ
- えのき　半分
- しめじ　半分
- やまいも　５０ｇ
- 刻みねぎ　少々

☆調味料

- めんつゆ　大３
- みりん　少々
- ポン酢　大１

★作り方

①耐熱容器に☆の調味料、きのこ類とやまいもを入れて、軽く混ぜて、レンジでチンする。(500wで７～８分くらい)

②茹でたうどんに①をかけ、ねぎをちらし完成。

きのこには便通をよくしたり、動脈硬化や糖尿病などの生活習慣病の予防に役立ちます。また、やまいもには、消化や吸収を助ける効果や疲労回復、滋養強壮への効果もあります。

部長エッセイ

高齢福祉部
部長
薗田　久美子

この度、皆様に支えていただき、いこいの村聴覚言語障害センター開所40周年を迎えることができました。

平成４年に、綾部東部在宅介護支援センター・綾部東部デイサービスセンターを開所、その後グループホームとくらの家・綾部市東部地域包括支援センターを開所し、綾部東部地域の皆様にご利用いただき、高齢者の介護や生活を支えてまいりました。

この40年間で、人口減少や高齢化率の上昇等、東部地域にも変化がありました。民間のサービス（例えば配食サービス等）が、なかなか入ってこない地域でもあります。そんな地域だからこそ、いこいの村が「地域にとってなくてはならない存在」になりたいと思っています。

次の50周年に向けて地域の方々と共に歩むことを大切にし、「地域の困りごとを一手に引き受けるいこいの村」、「頼れるいこいの村」でありたいと決意を新たにした記念祭になりました。

そして、この度、法人後援会口上林地区の会員様から40周年の記念として、いこいの村敷地内の案内板を寄贈いただくことになりました。世話人会の方にご協力をいただき、現在、制作中です。

完成したその節には、是非ご覧いただきたいです。

記念事業　案内看板作成中

♦いこいの村聴覚言語障害センター 開所40周年記念祭♦

～お祝いありがとうございました～

（順不同）＜敬称略＞

綾部市長 山崎 善也	5,000円
京都府中途失聴・難聴者協会綾部支部	5,000円
滝野 稔・千里	10,000円
口上林地区自治会連合会	10,000円
京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築く ネットワーク委員会 委員長 高山 正紀	10,000円
社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会	5,000円
口上林地区民生児童委員協議会	5,000円
法人後援会口上林地区世話人会 代表　川端　勇夫	5,000円
社会福祉法人 綾東保育園	10,000円
井根町自治会	3,000円
十倉志茂町自治会	3,000円
十倉中町自治会	3,000円
十倉名畑町自治会	3,000円
佃町自治会	3,000円
忠町自治会	3,000円
中上林地区民生児童委員協議会	5,000円
山家地区民生児童委員協議会	5,000円
奥上林地区民生児童委員協議会	5,000円
綾部市消防団口上林分団	5,000円
口上林公民館主事　細井 守	3,000円
法人後援会口上林地区世話人会 高橋 信子	10,000円
野畑　晃	10,000円
特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会 理事長　山岡 千恵子	5,000円
全国聴覚障害者情報提供施設協議会	5,000円
全国ろう重複障害者施設連絡協議会	10,000円
社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会	10,000円
京都府中途失聴・難聴者協会	5,000円
片山 ひろみ	5,000円
京都府手話サークル連絡会	5,000円
京都盲ろう者ほほえみの会	5,000円
両丹聴覚障害者協会	5,000円
京都府聴覚障害者協会 綾部支部	3,000円
宮下 富美子	5,000円
京都府聴覚障害者協会 京丹後支部	5,000円
京都府聴覚障害者協会 福知山支部	5,000円
綾部手話サークル「あやとり」	5,000円
綾部手話ｻｰｸﾙ「あやとり」 昼の例会	5,753円
大江町手話サークル	5,000円
福知山手話サークル「こづち」一同	5,000円
福知山要約筆記ｻｰｸﾙ　「みみの輪」	3,000円
綾部市要約筆記サークル「みみずく」	5,000円
舞鶴要約筆記サークル「みみかき」	5,000円
宮津市要約筆記サークル「いずみ」	5,000円
宮津手話ｻｰｸﾙ連絡会	5,000円
与謝郡要約筆記サークル「さくら草」	5,000円
与謝郡手話サークル連絡会「よつば」	5,000円
NPO法人 わいわいネットなかま	5,000円
綾部市身体障害者協会	5,000円
あやべ福祉フロンティア	5,000円
あやべボランティア総合センター	5,000円
株式会社莫設計同人 代表取締役 松村 正希	10,000円
社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会	5,000円
福知山難聴協会	10,000円
社会福祉法人 綾部福祉会	10,000円
自立支援センターいかるがの郷	10,000円
るんびに苑　理事長　長谷川 毅正	10,000円
社会福祉法人三篠会 理事長 酒井 亮介	10,000円
古高 雅明	5,000円
社会福祉法人 京都紫明福祉会 理事長 西島 藤彦	10,000円
京都府要約筆記サークル連絡会 会長 向井 章代	10,000円
大萬商事株式会社	30,000円
高齢者支援センター 松寿苑 センター長 石角 誠	5,000円
公益社団法人 大阪聴力障害者協会	10,000円
匿名	10,000円
柴田 浩志	5,000円
口上林郵便局 局長 山本 武晃	5,000円